

FLOOD HAZARD MAP of KOMAE CITY

狛江市洪水ハザードマップ

狛江市洪水防災地図 코마에시 홍수 방재 지도

Flood of Nogawa and Irimagawa

野川・入間川氾濫版

野川・入間川氾濫版 노가와·이리마가와 범람판

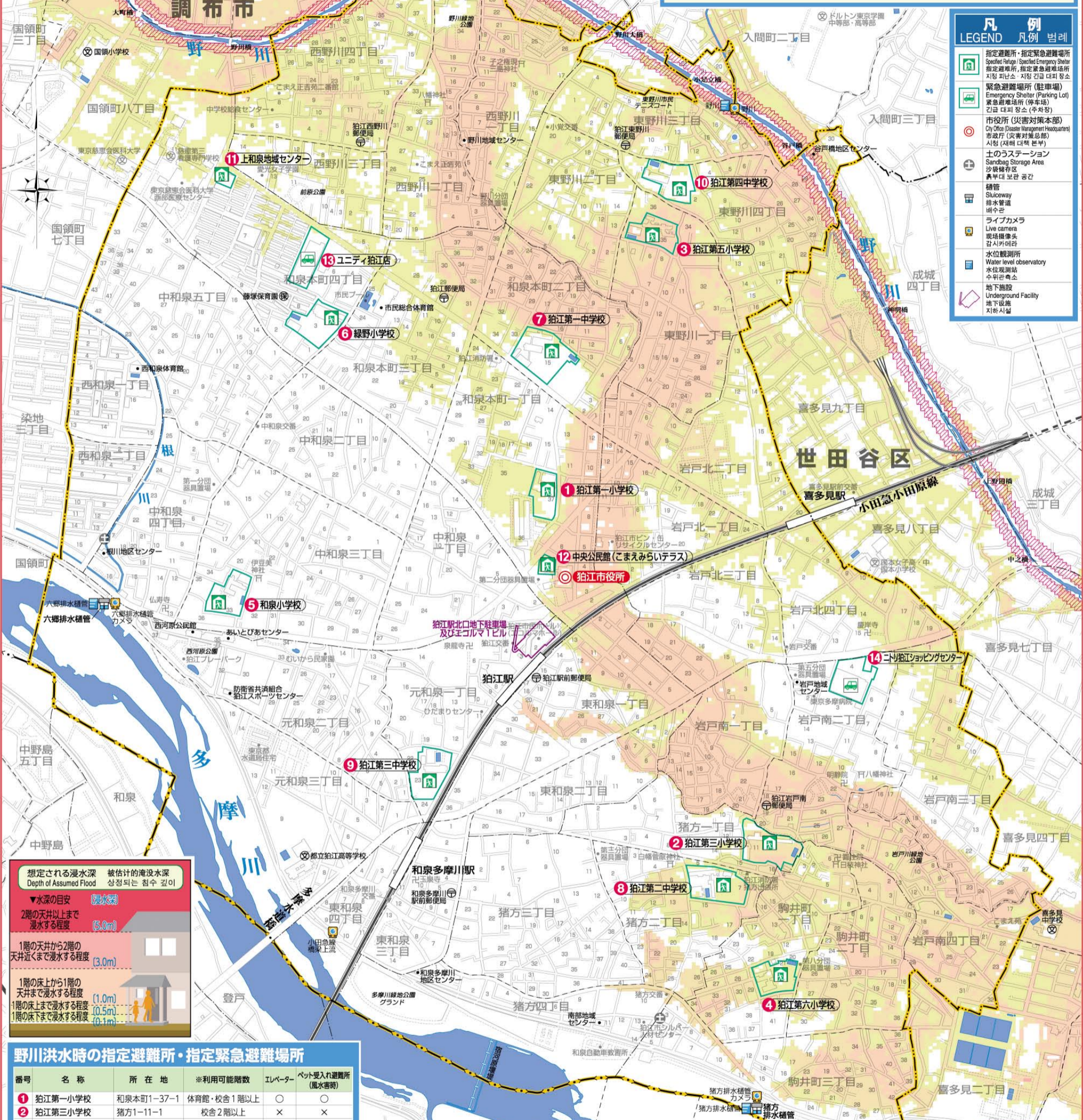
浸水想定区域図(想定最大規模) この地図は、東京都作成の多摩川水系野川、仙川、入間川、谷沢川及び丸子川洪水浸水想定区域図(想定最大規模)をもとに、大雨時に野川が氾濫した場合の浸水想定区域や浸水深、避難所などを示したものです。
 ※内水氾濫は考慮していません。

想定した雨量は、1時間最大雨量153mm、24時間総雨量690mmという、水防法の規定により定められた想定しうる最大規模の降雨です。

なお、地図に示した浸水想定区域以外でも状況によっては浸水することもありますので、十分注意してください。

水防法第15条第3項に基づくハザードマップです。

- #### 凡例 LEGEND 凡例 범례
- 指定避難所・指定緊急避難場所
Specified Refuge / Specified Emergency Shelter
指定避難所, 指定緊急避難場所
지정 피난소, 지정 긴급 대피장소
 - 緊急避難場所(駐車場)
Emergency Shelter (Parking Lot)
緊急避難場所(駐車場)
긴급 대피장소 (주차장)
 - 市役所(災害対策本部)
City Office (Disaster Management Headquarters)
市役所(災害対策本部)
시청 (재해 대책 본부)
 - 土のうステーション
Sandbag Storage Area
土のうステーション
흙부대 보관 공간
 - 樋管
Sluiceway
樋管
배수관
 - ライブカメラ
Live camera
ライブカメラ
현장攝像기
 - 水位観測所
Water level observatory
水位観測所
수위관측소
 - 地下施設
Underground Facility
地下施設
지하시설



想定される浸水深 被估计的淹没水深
Depth of Assumed Flood 상정되는 침수 깊이

▼水深の目安 浸水深

- 2階の天井以上まで浸水する程度 (5.0m)
- 1階の天井から2階の天井近くまで浸水する程度 (3.0m)
- 1階の床から1階の天井まで浸水する程度 (1.0m)
- 1階の床まで浸水する程度 (0.5m)
- 1階の床下まで浸水する程度 (0.1m)

野川洪水時の指定避難所・指定緊急避難場所

番号	名称	所在地	※利用可能階数	エレベーター	ペット受入れ避難所(風水害時)
1	狛江第一小学校	和泉本町1-37-1	体育館・校舎1階以上	○	○
2	狛江第三小学校	猪方1-11-1	校舎2階以上	×	×
3	狛江第五小学校	東野川1-35-13	校舎2階以上	×	○
4	狛江第六小学校	駒井町1-21-1	体育館・校舎1階以上	×	○
5	和泉小学校	中和泉3-33-1	体育館・校舎1階以上	○	○
6	緑野小学校	和泉本町4-3-1	体育館・校舎1階以上	○	○
7	狛江第一中学校	和泉本町2-15-1	体育館・校舎1階以上	○	○
8	狛江第二中学校	猪方2-7-1	体育館・校舎1階以上	○	○
9	狛江第三中学校	元和泉1-23-1	体育館・校舎1階以上	○	○
10	狛江第四中学校	東野川4-1-1	体育館・校舎1階以上	○	○
11	上和泉地域センター	和泉本町4-7-51	体育館・1階以上	○	○
12	中央公民館(こまみらいテラス)	和泉本町1-1-5	2階以上	○	○

野川洪水時の緊急避難場所(駐車場)

番号	名称	所在地	※利用可能階数	ペット受入れ避難所(風水害時)
13	ユニティ狛江店	和泉本町4-6-3	平面駐車場・立体駐車場	-
14	ニトリ狛江ショッピングセンター	岩戸南2-4-3	平面駐車場・立体駐車場	-

最大浸水深

- 0.1m~0.5m未満の区域
- 0.5m~1.0m未満の区域
- 1.0m~3.0m未満の区域
- 3.0m~5.0m未満の区域
- 5.0m~10.0m未満の区域

家屋倒壊等氾濫想定区域(早期の立ち退き避難が必要な区域)

河岸侵食
 氾濫流による河川の侵食を受け、木造・非木造の建物に関わらず、建物の倒壊・流出などの危険性がある区域

◆浸水しやすい場所の確認を

東京都のホームページで過去の浸水実績を確認できます。

◆要配慮者利用施設一覧

社会福祉施設、病院、保育園や学校等、災害の際に配慮が必要の方が利用されている施設の情報を確認できます。

Web版狛江市洪水・内水ハザードマップ

現在お使いいただいているパソコンやスマートフォンから、いつでもどこでも、市内の防災施設や危険箇所等を確認することができます。また任意地点の詳細な浸水深なども確認できます。

